

6. 前年度問題

楽典

学校推薦入学試験・特別入学試験

I. 次の譜例についての問いに答えなさい。

Adagio molto e mesto.

Violin I
Violin II
Viola
Cello

Vln. I
Vln. II
Vla.
Vc.

Vln. I
Vln. II
Vla.
Vc.

Vln. I
Vln. II
Vla.
Vc.

(L. v. ベートーヴェン：弦楽四重奏曲第7番 Op. 59-1 第三楽章)

1. 譜例中の①～⑮の音から指示された、二音間の音程を答えなさい。

1) ①と②との音程	2) ②と③との音程	3) ③と④との音程
4) ②と④との音程	5) ⑤と⑥との音程	6) ⑦と⑧との音程
7) ⑨と⑩との音程	8) ⑪と⑫との音程	9) ⑬と⑭との音程
10) ⑭と⑮との音程		
2. 次の音階の上行形と下行形を書きなさい。ただし、必ず調号を使って書くこと。

1) 譜例中の①を主音とする自然短音階	2) 譜例中の④を主音とする長音階
3) 譜例中の⑨を主音とする和声的短音階	4) 譜例中の⑪を主音とする長音階
5) 譜例中の⑬を主音とする旋律的短音階	
3. 譜例中のViolin Iのパートの1～4小節目を、指示されたとおりに移調しなさい。ただし、調号は使わず、臨時記号のみを用いて書くこと。

1) 高音部譜表を使って、短2度下に。
2) 低音部譜表を使って、1オクターブと完全4度下に。

II. 次の楽語の意味を下の語群からえらび、その記号（イ～ヲ）を書きなさい。

- | | | | | |
|----------------|-----------|-------------|----------|----------------|
| 1. andantino | 2. presto | 3. leggiero | 4. molto | 5. legato |
| 6. accelerando | 7. dolce | 8. sempre | 9. grave | 10. allargando |

イ. アンダンテより速く ロ. アンダンテより遅く ハ. 音を強くしながら、次第に遅く
 ニ. 柔和に ホ. たえず ヘ. なめらかに ト. 急速に チ. 遅く荘重に リ. 次第に速く
 ヌ. 次第に強く ル. 軽く ヲ. きわめて

III. 試験開始の40分後に始まる音楽M1～M5を聴き、拍子、長調・短調、主な楽器、形式などを、解答表の空欄に記入しなさい。時代については、1) バロック、2) 古典派、3) ロマン派、のいずれかから選び、その語句を書きなさい。

一般入学試験＜I期＞・給費生入学試験・芸術特待生入学試験

I. 次の譜例についての問いに答えなさい。

Allegro moderato

The musical score consists of two systems. The first system shows measures 1 to 4. The second system shows measures 5 to 8. The instruments are Violin I, Violin II, Viola, and Cello. The key signature is one sharp (F#), and the time signature is 2/4. The tempo is Allegro moderato. Dynamics include *f* and *mf*. Circled notes are numbered 1 through 7.

(G. フォーレ：弦楽四重奏曲 Op. 121 第一楽章)

1. 譜例中の①～⑮の音から指示された、二音間の音程を答えなさい。

1) ①と②との音程	2) ②と③との音程	3) ③と④との音程
4) ⑤と⑥との音程	5) ⑤と⑦との音程	6) ⑥と⑦との音程
7) ⑧と⑨との音程	8) ⑩と⑪との音程	9) ⑫と⑬との音程
10) ⑭と⑮との音程		

2. 次の音階の上行形と下行形を書きなさい。ただし、必ず調号を使って書くこと。

1) 譜例と同じ調号を持つ短調の自然短音階	2) 譜例中の③を主音とする長音階
3) 譜例中の⑤を主音とする旋律的短音階	4) 譜例中の⑨を主音とする自然短音階
5) 譜例中の⑬を主音とする和声的短音階	

3. 譜例中のViolin Iのパートの5～8小節を、指示されたとおりに移調しなさい。ただし、調号は使わず、臨時記号のみを用いて書くこと。

1) 高音部譜表を使って、長3度下に。
2) 低音部譜表を使って、1オクターブと長6度下に。

- II. 次の楽語の意味を下の語群から選び、その記号(イ～ワ)を書きなさい。

1. Andantino	2. Grave	3. Sostenuto	4. Tempo primo	5. Allargando
6. Accelerando	7. Simile	8. Sempre	9. Dolce	10. Leggiero

イ. アンダンテより速く ロ. アンダンテより遅く ハ. 次第に遅く ニ. 柔和に
 ホ. たえず ヘ. 最初の速さで ト. 正確な速さで チ. 遅く荘重に リ. 次第に速く
 ヌ. 軽く ル. 音を強くしながら次第に遅く ヲ. 同様に ワ. 音の長さを充分に保って

- III. 試験開始の40分後に始まる音楽M1～M5を聴き、拍子、長調・短調、主な楽器、形式などを、解答表の空欄に記入しなさい。時代については、1) バロック、2) 古典派、3) ロマン派、のいずれかから選び、その語句を書きなさい。

IV. 1. 西洋音楽に関する次の文章を読み、(①)～(⑦)にふさわしい語句を、下の語群(イ～ヲ)から選び、記号で答えなさい。【給費生のみ】

- 1) 西洋音楽の源流といわれるのは、カトリック教会の典礼で、ラテン語で歌われる単旋律の(①)という歌である。また、一般信者が日曜日やキリスト教の祝日毎に教会に集まって行う典礼を(②)とよび、古来、多くの作曲家がそのための作品を残している。
- 2) バロック時代のドイツの作曲家(③)は、教会音楽家として生涯の大半を過ごし、宗教音楽の分野で多くの名作を残した。特にプロテスタント教会の礼拝で歌われる声楽曲(④)には200曲以上の作品がある。また③は、独立した複数の声部が互いに模倣し合い絡み合って展開していく(⑤)という作曲技法を極めたことでも有名である。
- 3) 古典派と呼ばれる時代は、おおよそ18世紀中頃から終わりにわたっているが、特に18世紀後半にウィーンで活躍した(ア)3人の作曲家は、互いに影響しあいながら器楽を大いに発達させた。特に重要なジャンルである(⑥)では多くの名作が生まれ、現在のオーケストラ演奏会の中心的なレパートリーを占める。さらにこの時代には、音楽を愛好する一般市民が増え、家庭でたしなむ楽器として(⑦)が普及した。

語群

イ. シャンソン ロ. 交響曲 ハ. ソナタ形式 ニ. ヘンデル ホ. カンタータ ヘ. フーガ
ト. バッハ チ. ミサ リ. 交響詩 ス. グレオリオ聖歌 ル. 電子オルガン ヲ. ピアノ

2. 上記の文章3)の下線部(ア)に相応しい3人の作曲家名を書きなさい。

V. 次の文章で説明されている作曲家の名前を書き、その作曲家の作品を下の譜例から選び、記号(ア～カ)で答えなさい。【給費生のみ】

- 1) バロック時代の協奏曲ジャンルに600曲以上の作品を残し、中でも、春夏秋冬それぞれに因んだ4曲のヴァイオリン協奏曲をまとめた《四季》が有名である。
- 2) 19世紀前半のドイツで、文豪ゲーテの詩に基づく《野ばら》や《魔王》といった作品を発表し、それまで注目されてこなかった歌曲の分野を芸術的に高めた。
- 3) 19世紀後半のイタリアで活躍し、それまで歌手の技巧中心であったオペラを、シェクスピアなどの優れた文学作品に基づいて劇的な内容に変化させた。古代エジプトを舞台にした《アイダ》では、壮大な凱旋の場が有名である。
- 4) 20世紀前半のフランスで活躍し、ドビュッシーと共に「印象派」と呼ばれる新しい音楽を開拓した。バレエ作品も多く、《ボレロ》ではスペインの民族舞踊のリズムに基づく旋律を反復しながら、独奏から全オーケストラへと盛り上がる。
- 5) 19世紀後半のボヘミア(現在のチェコ)を代表する作曲家で、自国の自然を描いた管弦楽曲《モルダウ》やチェコ語のオペラ等で、民族的な作風を確立した。
- 6) 明治時代にドイツに留学し、日本の洋楽作曲家の先駆者となったが、若くして亡くなったため作品数は少ない。しかし《荒城の月》や《花》などは、日本の代表的な芸術歌曲として今も歌い継がれている。

Lieblich

ア 

イ 

ウ 

エ 

Allegro maestoso

一般入学試験<Ⅱ期>

I. 次の譜例についての問いに答えなさい。

Moderato e semplice

(P. チャイコフスキー：弦楽四重奏曲第1番作品11より第1楽章)

- 譜例中の①～⑬の音から指示された、二音間の音程を答えなさい。

1) ①と②との音程	2) ③と④との音程	3) ③と⑤との音程
4) ③と⑥との音程	5) ④と⑥との音程	6) ⑦と⑧との音程
7) ⑨と⑩との音程	8) ⑪と⑫との音程	9) ⑬と⑭との音程
10) ⑮と⑯との音程		
- 次の音階の上行形と下行形を書きなさい。ただし、必ず調号を使って書くこと。

1) 譜例と同じ調号を持つ長調の音階	2) 譜例中の②を主音とする和声的短音階
3) 譜例中の⑪を主音とする自然短音階	4) 譜例中の⑬を主音とする長音階
5) 譜例中の⑭を主音とする旋律的短音階	

3. 譜例中のViolin Iのパートの5～8小節までを、指示されたとおりに移調しなさい。
ただし調号は使わず、臨時記号のみを用いて書くこと。
1) 高音部譜表を使って、長3度下に。
2) 低音部譜表を使って、1オクターブと長6度下に。

II. 次の楽語の意味を下の語群から選び、その記号（イ～ワ）を書きなさい。

1. Allegretto 2. Ritenuto 3. Perdendosi 4. Tempo rubato 5. Vivace
6. Andante 7. Moderato 8. Cantabile 9. Espressivo 10. Maestoso

イ. 歩くような速さで ロ. 表情豊かに ハ. 正確な速さで ニ. 速さを自由に加減して
ホ. 中くらいの速さで ヘ. だんだん遅く消えるように ト. 活発に チ. 荘厳に
リ. 次第に遅く ヌ. 直ちに遅く ル. 音の長さを十分に保って ヲ. 歌うように
ワ. やや快速に

III. 試験開始の40分後に始まる音楽M1～M5を聴き、拍子、長調・短調、主な楽器、形式などを、解答表の空欄に記入しなさい。時代については、1) バロック、2) 古典派、3) ロマン派、のいずれかから選び、その語句を書きなさい。